

										赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報	
										発行人/会 長 吉 岡 博 之	
										編集人/ 小 野 章	
										〒625-0062 舞鶴市森973 番地の1	
										FAX/0773-63-9764	
										E-mail brick7388@yahoo.co.jp	
赤煉瓦倶楽部舞鶴											
会報122号 令和5年(2023年) 4月17日											
「赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ										http://www.redbrick.jp/	

目 次

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 舞鶴線（東舞鶴駅～福知山駅間）鉄道施設調査について(3) | 4. 令和5年度赤煉瓦倶楽部舞鶴総会のご案内 |
| 2. 赤れんが博物館開館 30 周年に | 5. 赤れんがパークを視て思う |
| 3. 赤れんが博物館企画展「令和4年度新収蔵品展」開催中 | 6. 市外視察旅行の企画について |

1. 舞鶴線（東舞鶴駅～福知山駅間）鉄道施設調査について（3）

吉岡博之(会長・理事)

第3回調査報告

調査日時 11月12日(土)9時～12時

調査対象 舞鶴線：綾部駅～福知山駅間（現・山陰本線区間）

第2回の調査に続いて舞鶴市域以外の舞鶴線鉄道調査です。現在では山陰本線となっている綾部駅から舞鶴線の起点となった福知山駅まで、煉瓦造などの施設残存調査を実施しました。

綾部駅～福知山駅間は昭和43年(1968)に複線化されたため、当初煉瓦造であった橋梁橋脚・橋台、鉄製桁がコンクリート製桁に改修されたものが多くあります。綾部駅西側の溝渠や延谷川橋梁（写真1・2）は上下線ともコンクリート造に改修。中筋大江溝渠、岡ノ下橋梁、天田井橋梁（写真3・4・5）はいずれも下り線架台には現在も煉瓦造の橋台がみられました。



写真1 綾部駅西側溝渠



写真2 延谷川橋梁



写真3 中筋大江橋梁



写真4 岡ノ下橋梁



写真5 天田井橋梁の橋台



写真6 第2松戸橋梁

高津駅東側に位置する第2松戸橋梁（写真6・7）は、上下線ともコンクリート造の橋脚・主桁に改修されましたが、駅に近い高津フケ溝橋梁（写真8～11）は、上り線側に煉瓦造の橋台と鉄骨造橋桁が残されています。この橋桁にはリベットが使用されています。（高津駅は、昭和33年(1958)に請願により設置された）同駅西側の高津谷川

橋梁は、橋脚・橋台はコンクリート化されていますが、主桁は下り線がコンクリート製桁、上り線は鉄製桁でした。以西の観音寺橋梁、栗田川橋梁、石原橋梁、土橋梁の各橋梁についても下り線の橋脚・橋脚は煉瓦造、桁はコンクリート製となっており、観音寺橋梁と栗田川橋梁の上り線はコンクリート造の橋台と鉄製桁の組み合わせでした。



写真7 同橋梁下から



写真8 高津フケ溝橋梁



写真9 同 上り線の鉄桁

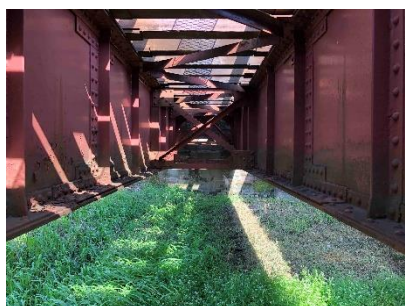


写真10 同 下から

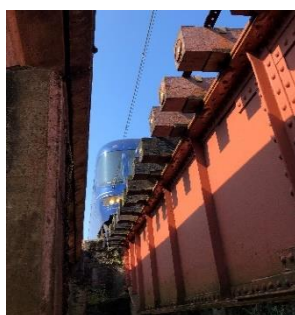


写真11 同



写真12 高津谷川橋梁



写真13 同 下り線（南から）



写真14 観音寺踏切



写真15 観音寺橋梁



写真16 同 上り特急通過



写真17 阿毘地踏切



写真18 栗田川橋梁



写真19 石原橋梁



写真20 土橋梁



写真21 土師川東 3橋梁



写真22 同旧橋台（東側）



写真23 同旧橋台（西側）



写真24 土師川東2橋梁



写真25 同東側橋台



写真26 同橋梁 特急通過



写真27 下り線「瑞風」通過



写真28 土師川東1橋梁



写真29 旧土師川橋梁橋脚



写真30 土師川東隧道



写真31 土師川橋梁



写真32 土師川橋梁



写真33 堀橋梁

土師川橋梁（写真32）は、昭和43年の複線化にともない下流側に約10m移動して架橋しています。この土師川橋梁から約500mの地点の（仮称）土師川東3橋梁（写真21～23）、約190mの地点の（仮称）土師川東2橋梁（写真24～27）、約45m地点の（仮称）土師川東1橋梁（写真28）、約25m地点の土師川東隧道（写真30）のそれぞれ南側には、舞鶴線開業時の煉瓦造旧橋台の一部や張り石を有する煉瓦造の旧橋脚（写真29）が残されていて往時をしのばせています。（なお、河川敷の旧橋脚は撤去されていて残っていない）写真33は土師川橋梁を渡った西側の府道を跨ぐ橋梁です。この先、福知山駅までは高架化されているため調査はここまでとしました。

※橋梁等の施設名称について、現地調査時点で不明であったものについては、当方で仮名称を付しております。正確な名称については、後日改めて会報でお知らせいたします。



赤れんが博物館前の建物を撤去し、自衛隊桟橋等を望める博物館前広場を整備（令和5年）

平成3年に赤煉瓦倶楽部舞鶴が発足して以降、海上自衛隊等へライトアップを要請し実現するほか、野外ジャズコンサートの開催、市内商店などによる赤れんが商品の誕生などまちづくり活動が盛り上がりを見せる中、舞鶴市は、こうした市民の動きに呼応し、赤れんがを活かしたまちづくりを進めはじめました。

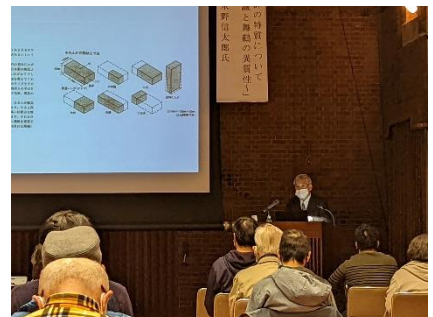
舞鶴市は、当時取り壊しが予定されていた旧海軍の魚雷倉庫を取得し、赤れんが倉庫の転活用第1号として、「れんが」への理解を深め、赤れんがのまち舞鶴を情報発信するため、赤れんが博物館を市制施行50周年記念事業の一環で整備し、平成5年（1993年）11月6日に開館しました。



平成5年11月6日開館



ふるさと学習の受け入れ



講演会（水野信太郎顧問）

「れんが」をテーマとした世界でも珍しいこの博物館は、本年開館30周年を迎え、収蔵資料は、現在世界42カ国から2千点を超えており、入館者も累計で173万人を数えています。

開館前に、当館へのれんが寄贈をきっかけにはじまった英国ポーツマス市との交流も、平成10年には姉妹都市提携を締結し、平成20年には赤れんがパークの赤れんが倉庫とともに、当館建物も国の重要文化財に指定されました。

また、開館時から行っている博物館顧問の水野信太郎氏によるミュージアムトークも市民講座として現在も続いており、企画展や各種コンサート、講演会などの催しのほか、市内小学校のふるさと学習受入れも定着してきたところです。

本年は、開館30周年記念企画展や講演会を開催するほか、新しく整備された博物館前広場でのコンサートなどが予定されています。



新たにライトアップ照明設備と展示ケースを整備（令和4年）



2階からは海自艦船や前広場も

3. 赤れんが博物館企画展「令和4年度新収蔵品展」開催中

石原 雅章（理事）

赤れんが博物館では、新たに収蔵したれんがを展示する「令和4年度新収蔵品展」を開催しています。今回展示するれんがには、古代のれんがである平城宮跡出土磚（せん）や三池炭鉱旧万田坑施設のれんが、引揚者が抑留中に建てた建物のれんがなど約20点。八幡製鐵所製鉦滓（こうさい）れんがや石炭灰を使用した桃色（炭滓）れんがという未焼成のれんがも展示されます。ぜひご覧ください。

- ・日時 令和5年5月14日（日）まで。会期中は無休 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ・場所 舞鶴市立赤れんが博物館2階 特別展示室
- ・入場料 常設展示と共通 一般400円、学生150円



展示の様子



平城宮跡出土磚（所蔵 奈良文化財研究所）

平城宮跡出土磚とは：

奈良時代前半、平城宮の中心部である大極殿の前面に、磚という古代のれんがが積まれた巨大な壁（高さ約2m、幅約100m）が築かれていました。この壁は「磚積擁壁（せんづみようへき）」とよばれ、展示の磚はこの壁に使用されていたものと考えられています。

4. 令和5年度赤煉瓦倶楽部舞鶴総会のご案内

吉岡 博之（会長）

赤煉瓦倶楽部舞鶴の令和5年度総会を下記のとおり開催します。つきましては、ご出席の有無を同封のハガキにより5月15日必着でお知らせ下さるようお願いいたします。

記

日時：5月21日（日） 午後2時～

場所：舞鶴市字森973-1 「アトスペース973」

さる3月20日倶楽部理事会有志で赤れんがパークを見て歩きました。かなり変貌した部分とそうでない部分がありました。幾つか気になる点がありましたので私見で恐縮ですが報告いたします。

専用駐車場からの文庫山沿いの道はいつも長く感じます。年配者には、特に酷暑の夏や風雪(うらにし)の冬は負担をかけるかと案じます。因みに赤れんが博物館までは750mで、往復1.5kmになります。

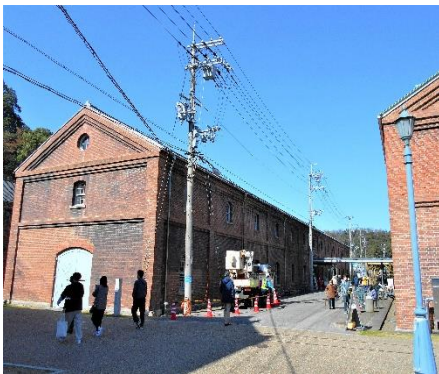
次に、5号棟角から2号棟と3号棟の間を抜けて延々海辺の芝生の北まで続くコンクリート電柱列が目に入ります。電柱地中化はお隣の宮津市では智恩寺参道で施工中です。横浜・金沢・姫路・函館・洲本・わか姉妹都市ポーツマスなど赤煉瓦建築活用で著名な都市の該当箇所のネット画像を見て頂きたい。まず電柱は皆無です。

翻って本エリアは、1993年の赤れんが博物館開館を皮切りに30年の星霜を重ねるも、電柱列が最も目立つ部分に堂々と屹立しています。お客様が経費と時間をかけて来訪・参観される重要文化財・日本遺産です。電柱地中化に要する経費は十分コストにかなうのではない

でしょうか。否、それ以前に無電柱化は礼を示すドレスコードのようなものだと思うのですが。

赤れんが博物館(1号棟)前に移動すると、長期工事を終えた海に面した白い大空間に驚きます。階段も設置し古代ギリシャの劇場の雰囲気すらあります。この場が特に美しいと感じたのは、上記の西のエリアと異なり完全に無電柱化されているからだといえます。つまり、この博物館の周辺がお客様の鑑賞眼を満足させるわけです。気がかりなのは、広場が白色系になったので段差が分かりにくく、年配者を転倒させないかということです。博物館の2階の窓からの景色、特に夕景は絶品です。

赤れんが博物館の駐車場については、引揚記念館と対照的に大型バス(12m)が駐車しにくく不便をかけてきました。博物館には市役所・体育館が隣接するので、市民の車も多く駐車条件は当初から最悪です。今後「駐車場の集約」があると聞きますが、お客様の歩く距離、乗降する時間、バスの駐車利便性を極限まで考慮して設計・配置を考えていただきたいものです。



5号棟角に発し2号棟と3号棟の間を走る電柱列(と電線)は海辺の芝生広場前を貫き文庫山北へと続く

6. 市外視察旅行の企画について

事務局

当倶楽部の市外視察として、広島県の煉瓦建築遺産や旧海軍の施設等を訪ねる旅を企画しました。日程は6月2日(金)～3日(土)、訪問地は広島市・呉市・江田島市で、舞鶴市とも歴史遺産の街として共通点が多く、学ぶところの多い地域です。行程や応募の詳細は、同封のチラシをご参照下さい。ご応募をお待ちいたします。

本会の目的(要旨)：赤煉瓦を活かしたまちづくり活動、赤煉瓦ネットワーク交流と他市のまちづくり支援など。

会員の資格：会費納入者 年会費(個人1,000円、団体5,000円)。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付等 振込先：①ゆうちょ銀行 四四ハ店(ヨンヨンハチ店) 普通 3679505 口座名義 アカレングクラブマイツル
又は ②京都北都信用金庫 舞鶴中央支店 普通 口座番号 0686767 口座名義 アカレングクラブマイツル